

時空をこえてつながってきた人形劇のまち飯田

「いいだ人形劇フェスタ」 市民がつくる人形劇の祭典へ

人形劇カーニバル飯田は第20回、成人式を迎えた20年を区切りに、発展的に終了することになりました。第20回のカーニバル終了後、関係者によって、20年の評価と検証が行われ、市民主体の新しい体制で再出発することになりました。新しい人形劇の祭典の起ち上げについて急ピッチで検討が進められ、1999年3月には骨子が出来上がり、4月には市民による新しい実行委員会が誕生。そして8月、市民がつくる人形劇の祭典「いいだ人形劇フェスタ」の第1回が開催されたのです。

いいだ人形劇フェスタは、市民と人形劇人が交流しながら、ともにフェスタをつくっていくことにより、人形劇が向上・発展し、地域の文化がさらに高まり、そしてまちも活性化する、そんなお祭りを目指しています。「みる・演じる・ささえるわたしがつくるトライアングルステージ」、それがいいだ人形劇フェスタです。さまざまな年齢や職業の人が集まり、一人ひとりの思いを実現させ、たくさん感動と豊かなところが生まれる場として、回を重ねる中、いいだ人形劇フェスタは、

市民がつくる私たちのお祭りに育ってきました。そして2008年、人形劇のまち30年を記念して、9日間にわたる「世界人形劇フェスティバル」が、市民の手によって開催されました。

